目次

ユーザーインターフェースの利用 1
ユーザーインターフェースの利用：概要 1
ユーザー インターフェース 2
ホームページ 4
ホームページ 4
左ペイン 6
右ペイン 8
初期ビュー 8
測定ルーチンについての項目 9
設定 11
...メニュー 13
ルーチンの作成 14
測定ルーチンテンプレートの使用 14
ルーチンを開く 18
最近からのルーチンの削除 18
お気に入りに項目を追加する 18
お気に入りから項目を削除する 19
テーマを変更する 19
ルーチンの場所を追加する 19
ホームページを無効化する 20

メニュー バー 20
ファイル 21
編集 21
表示 21
挿入 22
操作 23
ｳｨﾝﾄﾞｳ 23
ヘルプ 23
キーボードを用いての、メニュー バーからのオプション選択 24
ツール バー エリア 25
グラフィックの表示ウィンドウ 26
ステータス バー 26
ダイアログ ボックスの内容 27
編集ボックス 30
一覧ボックス 31
オプション ボタン 35
チェックボックス 35
ダイアログ ボックスのタブ 38
ドロップダウンリストボックス 38
アクセスダイアログボックスのオプション 38
編集ウィンドウをスクロール 39
ダイアログ ボックスの移動 39

ユーザー インターフェイスのカスタマイズ 40
デフォルト ユーザー インタフェースの回復 41
ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ 42
メニューのカスタマイズ 44
ツール バーのカスタマイズ 49
ショートカット キーのカスタマイズ 54
ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング 57

ユーザーインターフェースの利用

ユーザーインターフェースの利用：概要

このセクションでは、PC-DMIS ユーザーインターフェイスの主要部分について紹介します。この項では、個々のニーズに最も合うように PC-DMIS のグラフィカルオプションのいくつかをカスタマイズする方法についても説明します。(これらの使用可能なオプションに関する追加情報については「CAD 表示の編集: はじめに」セクションを参照してください。)

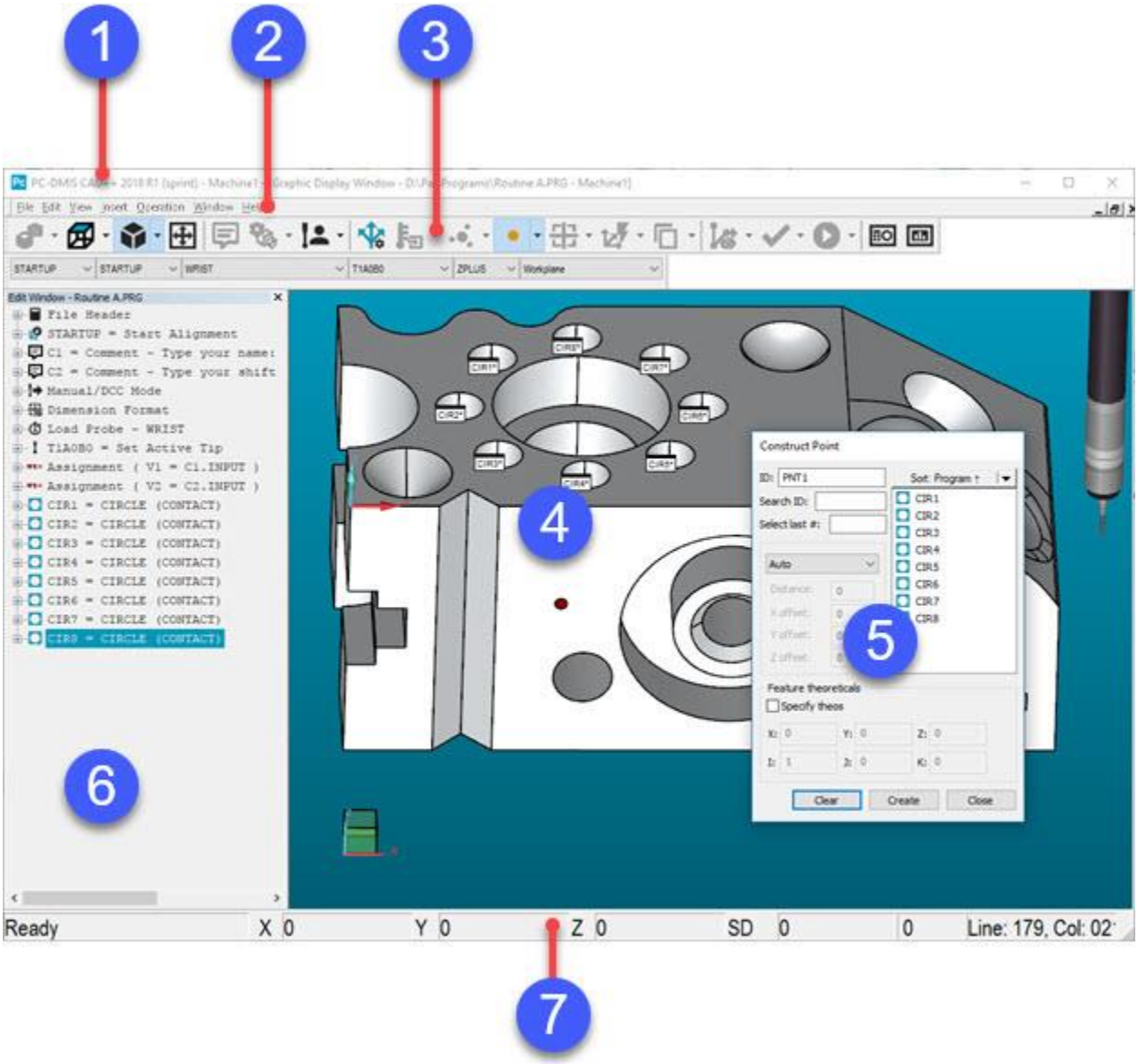
以下に記載される各トピックはンターフェイスの特定の機能を示します。これらは、この項で述べられている項目です：

- ユーザーインターフェイス
- ホームページ
- メニュー バー
- ツール バー エリア
- グラフィックの表示ウィンドウ
- ステータス バー
- ダイアログ ボックスの内容
- ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

PC-DMIS では、ユーザーがマウスまたはキーボードを使用して、コマンド入力またはオプション選択を柔軟に行えます。また、PC-DMIS はショートカットメニューとショートカットキーをよく使われるコマンドに割り当てます。「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用: はじめに」セクションを参照してください。

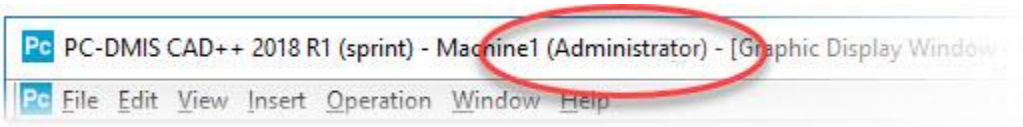
ユーザー インターフェース

PC-DMIS ユーザーインタフェースは幾つかのエリアに分かれており、各エリアは特定の機能を実行するか、必要な情報を表示します。下記に画面エリアの簡単な説明を記載します。（追加情報は文書の指定の場所に記載されています）。



PC-DMIS ユーザーインタフェースの画面外観

1. タイトルバーには PC-DMIS のバージョン情報、PC-DMIS のオフライン状態またはオンライン状態、PC-DMIS が管理者モードにあるかどうかが表示されます。PC-DMIS はオンラインの場合、測定機の名前も表示します。

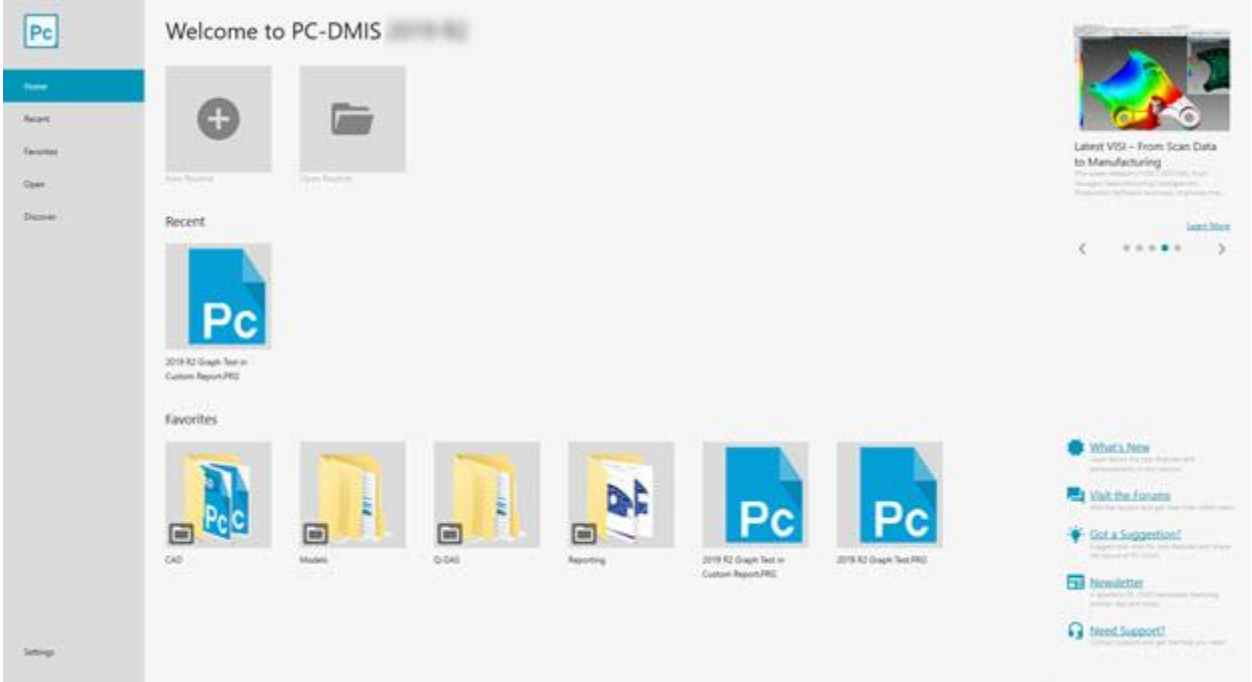


2. メニュバーには PC-DMIS アプリケーションから使用できるメニューとメニュー項目があります。詳細については、「メニューバー」を参照してください。
3. ツールバーエリアにはよく使われるコマンドのツールバーがあります。ツールバーエリアを右クリックして、これらのツールバーにアクセスすることができます。「ツールバーエリア」を参照してください。
4. グラフィック表示ウィンドウではパートの表現をグラフィックに表示します (トップビューを図に示します)。このエリアのサイズは一定です。ただし、表示エリアを最大 4 つの異なるパート画像に分割することができます。グラフィック表示ウィンドウ」を参照してください。詳細については、「
5. ダイアログ ボックスは PC-DMIS とユーザー間の主な通信チャネルです。利用可能な要素がダイアログ ボックスに表示され、これを使って大部分の入力データを入力することができます。詳しくは「ダイアログ ボックスの説明」を参照してください。
6. 編集ウィンドウは測定ルーチンを表示します。このウィンドウでは測定ルーチン内の特定コマンドにアクセスでき、個々の仕様を満たすように変更を行うことができます。完全に文書化された編集ウィンドウの操作については、「測定ルーチンの編集：概要」および「編集ウィンドウの使用：概要」章を参照してください。
7. ステータスバーはその時点での動作にとって重要な情報を表示します。それにはプローブの現在位置、プローブ校正データ、測定された最後の要素の標準偏差、取込み点数およびその他の情報などがあります。また、進行中の動作についての

プロンプトおよび関連情報を表示するメッセージエリアもあります。より詳しい情報は「ステータスバー」を参照ください。

ホームページ

ホームページ



ホームページは、測定ルーチンを開く前に PC-DMIS に表示される最初の画面です。すべての測定ルーチンを閉じてもアプリケーションは閉じない場合に表示される画面でもあります。ホームページにはさまざまなビュー (**[ホーム]**、**[最近]**、**[お気に入り]**、**[開く]**、**[発見]**など) があり、これを使用してコンピューター上の測定ルーチンにアクセスしたり、その他の操作を実行したりできます。ホームページには、コミュニティサイト、ニュース、製品ビデオへの便利なリンクもあります。

ユーザーはやはり**ファイル|開く**と**ファイル|新規作成**を使用して、測定ルーチンを開いて作成することができます。

デフォルトでは PC-DMIS を起動し、測定ルーチンを読み込まないときはホームページが表示されます。これが表示されない場合は、有効にする必要があります。これを行うには、[**セットアップオプション**]ダイアログボックス (**編集|カスタム設定|セットアップ**) の[**全般**]タブで[**ホームページを表示**]チェックボックスをオンにします。詳細については、「カスタマイズ設定」章の「ホームページを表示する」を参照してください。

参照アイテム

左ペイン

右ペイン

設定

...メニュー

手順

ルーチンの作成

測定ルーチンテンプレートの使用

ルーチンを開くこと

最近からのルーチンの削除

お気に入りにアイテムを追加すること

お気に入りからアイテムを削除すること

テーマの変更

ルーチン場所の追加

ホームページを無効にすること

左ペイン

ホームページから、左ペインはこれらのビューにアクセスできます：

- **ホーム** - このビューは、測定ルーチンを作成または開くためのタイルを提供します。独自の[**最近**]および[**お気に入り**]の埋め込みビューもあります。ここの**最近**には、最新の測定ルーチンのタイルの列が表示されます。ここの**お気に入り**には、お気に入りとしてマークした最新のアイテムのタイルが一列に表示されます。
- **新規** - このビューには新しい測定ルーチンを作成できるテンプレートが表示されます。初めて PC-DMIS を使用するときは、このビューにはすぐに使える以下のテンプレートが表示されます。
    - **空白テンプレート** - これは簡単な測定ルーチンを作成します。これは**ファイル | 新規**メニューからの測定ルーチンの作成に似ています。
    - **ポータブル実行テンプレート** - これはポータブルデバイスによって実行されるための測定ルーチンを作成します。
    - **Q-DAS エクスポート (出力) テンプレート** - これは既存の統計データとトレースフィールドコマンドを有する測定ルーチンを作成し、測定情報を Q-DAS ソフトウェアにエクスポート (出力) します。

また、任意の既存測定ルーチンを変更して、テンプレートとして使用することができます。詳しくは、以下の「測定ルーチンのテンプレートを使用」を参照してください。

- **最近** - このビューには、最近のすべての測定ルーチンのタイルが表示されます。**ホーム**ビューで利用可能な最近の測定ルーチンの一行以上を表示することができます。
- **お気に入り** - このビューには、お気に入りとしてマークしたすべての項目のタイルが表示されます。**ホーム**で利用可能な最近のお気に入りの一行以上を表示することができます。

- **開く** - このビューには、定義済みフォルダー内のすべての測定ルーチンまたはサブフォルダーのタイルが表示されます。

  デフォルトでは、PC-DMIS は現在のバージョンのこのフォルダの内容を表示します：

  C:\Users\Public\Public Documents\Hexagon\PC-DMIS\2020 R1

  管理者として PC-DMIS を実行している場合は、追加のフォルダを定義したり、**設定**からフォルダを非表示にすることができます。

- **見つける** - インターネットに接続された状態で、このビューには以下の 2 つのタブが表示されます
  - **ビデオ** - このタブは以下のような項目を紹介するビデオの一覧を提供します
    - PC-DMIS 製品の強調表示
    - PC-DMIS のトレーニング･ビデオ
    - 関連製品
  - **ルーチンの例** - このタブは、特定のタスクまたは測定を実行するための測定ルーチンにすでにあるコマンドを使った測定ルーチンの例の一覧を提供します。各タイルに描かれた意味のよく分かる絵は関連のある概念を示しています。
    - 測定ルーチンはレベルに従ってグループ分けされます。レベル数は関与する概念における相対的な難しさを表します。
    - 一部の項目は自動化スクリプトを使用してタスクを実行します。タイルに記載された意味のよく分かる絵は右下隅にある以下の小さなスクロールアイコンを使用して、そのスクリプトが使用されたことを示します。

- タイルにある**...**メニューを使用して、測定ルーチンをデフォルトの測定ルーチンディレクトリにダウンロードし、それらを**お気に入り**に追加することができます。また、ポインターを測定ルーチンの上に置き、[ダウンロード] ボタン ( ) を使用してそれらをダウンロードすることができます。ダウンロードしたら、**フォルダーエクスプローラで表示**ボタン ( ) を使用してファイルエクスプローラでファイルを開くことができます。

- **設定 -** このビューには、ホームページの設定が表示されます。

右ペイン

右ペインに、選択されている現在の項目に基づいて変化する情報およびその他のオプションが表示されます。

初期ビュー

最初に、ホームページの右ペインに以下の項目のリンクが表示されます。これらの項目の大部分にアクセスするにはインターネット接続が必要です。

- 新規追加の機能
- フォーラムへのアクセス
- 提案がありますか。
- ニュースレター (最新のソフトウェアメンテナンス契約をお持ちの場合はご利用いただけます)

- サポートが必要ですか。
- オンライン･ショップ

測定ルーチンについての項目

測定ルーチンを選択すると、以下のように右のペインが測定ルーチンの詳細を表示するように変わります。

パス - このテキストには、選択した測定ルーチンへのフォルダのパスが表示されます。

プレビューペイン - このエリアには、測定ルーチンが CAD ファイルを使用している場合に CAD のプレビュー画像が表示されます。**画像をサムネイルとして設定**をクリックして、CAD プレビュー画像からサムネイルを作ることができます。このサムネイルを変更するには、PC-DMIS を管理者として実行する必要があります。

お気に入り - このエリアでは、スターアイコンをクリックして測定ルーチンをお気に入りに追加したり、測定ルーチンをお気に入りから削除したりできます。

ニックネーム - このボックスでは、測定ルーチンのニックネームを入力できます。フォルダ構造における実際のファイル名は影響を受けません。ニックネームは**お気に入り**ビューに表示される名前にのみ影響します。

開く - このボタンは選択された測定ルーチンを開きます。

オンラインで開く - このオプションは、測定ルーチンをオフラインモードまたはオンラインモードのどちらで開くかを決定します。このオプションは、ライセンスでオンラインとオフラインがある場合にのみ表示されます。

CAD を含める - このオプションは、測定ルーチンに関連付けられた CAD ファイルを開くかどうかを決定します。

サムネイルの変更 - このボタンは、測定ルーチンのサムネイル画像の上に表示されます。PC-DMIS を管理者として実行している場合は、サムネイルを変更できま

す。この画像は Inspect ともリンクされています。つまり、PC-DMIS でサムネイル画像を変更すると、Inspect でも変更されます。

フォルダーエクスプローラを開く - このボタンは左ペインの**見つける**タブにアクセスして測定ルーチンの例をクリックすると、表示されます。このボタンはダウンロードされた測定ルーチンの例のためのフォルダーに対するファイルエクスプローラを開きます。このボタンは測定ルーチンの例をダウンロードしたら使用できなくなります。

テンプレートの項目 (新規タブ)

新規タブからテンプレートを選択すると、右ペインが変化して、作成したい測定ルーチンの詳細を表示します。**ファイル | 新規**からの**新しい測定ルーチン**ダイアログボックスには以下の同じ情報があります。

ニックネーム - このボックスは測定ルーチンのニックネームを定義します。デフォルトではこれは選択したテンプレートの名前と一致します。詳しくは、上記の「ニックネーム」を参照してください。

パート名 - このボックスはパートの名前を定義します。PC-DMIS が作成する.prg ファイルも同じこの名前を使用します。

場所 - このボックスは測定ルーチンを作りたいフォルダーを定義します。

シリアル番号 - このボックスはパートに固有のシリアル番号を定義します。この項目はオプションです。

改訂番号 - このボックスはパートまたは測定ルーチンの改訂番号を定義します。この項目はオプションです。

単位 - このリストは測定ルーチンが測定の単位にミリメーターまたはインチのどちらを使うかを定義します。単位は選択したテンプレートタイルの単位と一致しなければなりません。

作成 - このボタンは上記の情報を使用して、場所フォルダーに測定ルーチンを作成します。

オンラインで作成 - このオプションは測定ルーチンがオフライン測定ルーチンである (測定機に接続されていない) か、オンライン測定ルーチン である (測定機に接続されている) かを定義します。

- オフライン測定ルーチンでは、PC-DMIS が CMM に接続されていなくても、CMM なしで測定ルーチンとコマンドを作成することができます。CAD モデルで測定する要素を定義します。
- オンライン測定ルーチンでは、CMM のプローブとジョグボックスを使用して、PC-DMIS に測定したい要素をティーチングします。

設定

これらはホームページから利用できる設定です。設定にアクセスするには以下の条件を満たす必要があります。

- 管理者として PC-DMIS を実行する
- PC-DMIS はオペレーターモードであってはいけません
- PC-DMIS は保護モードであってはいけません

汎用設定

現在のテーマ - これはアプリケーションの見え方を**暗**と**明**のいずれかに変更します。新しいテーマを表示するには、アプリケーションを再起動する必要があります。

インターネットアクセス - 以下の 2 つのオプションを使うと、ホームページに対するインターネットアクセスをカスタマイズすることができます。

自動インターネットアクセス (情報) を可能にする - このオプションは右上の情報パネルを有効にします。

手動インターネットアクセス (リンク) を可能にする - このオプションはインターネットへのすべてのリンクを有効にします。これらのリンクには**ホーム**、測定ルーチンおよび**見つける**での動画に関するリンクなどがあります。

無効のとき、ホームページはインターネット上の項目にアクセスできません。

フォルダーエクスプローラ

PC-DMIS ルーチンの場所 - このセクションでは、[**ユーザーフォルダを新規作成**]をクリックして、定義済みまたはカスタムの拡張子を持つフォルダへのパスを含む新しいユーザー定義フォルダ設定を作成できます。管理者として PC-DMIS を実行している場合はこのセクションのみで変更を加えることができます。

ラベル - このオプションは他のビューのフォルダの下に表示されるフォルダの単純なラベルを提供します。ここに何も入力しないと、ソフトウェアはデフォルトのファイル名またはフォルダ名を使用します。

パス - このオプションはユーザー定義のフォルダのパスを表示します。作成時にパスを定義することができます。パスを変更する場合は、特定のユーザー定義のフォルダ設定を削除して再度作成する必要があります。

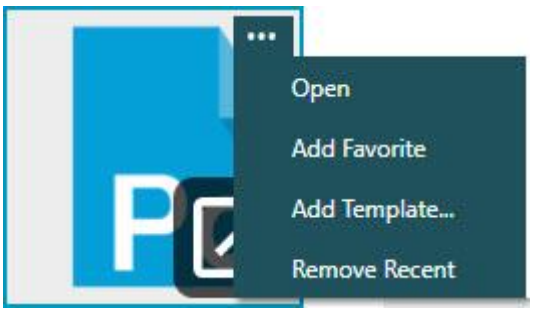
拡張子 - このボックスは、PC-DMIS がホームページに表示するファイルをフィルタリングします。**ユーザーフォルダを新規作成**をクリックすると、このフィルタを定義できます。カンマで区切る限り、複数のフィルタを追加できます。例えば、***.prg** を入力または選択して、PC-DMIS 測定ルーチンを表示することができます。***.***と入力すると、すべてのファイルを表示することができます。拡張子を変更したいのに、ユーザー定義のフォルダ設定が既に定義された場合は、特定のユーザー定義のフォルダ設定を削除して再作成する必要があります。

- フォルダの表示状態の切り替え - このオプションはユーザー定義フォルダの表示状態を変更します。このオプションを使うと、フォルダを非表示にして、**この PC** で表示されないようにすることができます。

- **この設定を削除する** - このオプションはユーザー定義のフォルダ設定を削除します。Windows エクスプローラの実際のフォルダは変更されません。

ユーザーフォルダの新規作成 - このリンクされたテキストは、定義できるユーザー定義のフォルダー設定を新規追加します。

...メニュー



...メニューは、ホームページの測定ルーチンタイルの上部にあります。**...**メニューを表示するには、測定ルーチンタイルをクリックします。このメニューには、測定ルーチンで実行できる一般的な操作の一覧が表示されます。以下のオプションの一部は **[詳細]** ペインにあるオプションと同じです。以下のオプションは、**[詳細]** ペインを使用してそれらのオプションを実行したくない場合に役立ちます。

- **開く** - このメニュー項目は編集または実行のためにルーチンを開きます。
- **お気に入りを追加** - このメニュー項目はルーチンを**お気に入り**ビューに追加します。
- **テンプレートを追加** - *このメニュー項目は管理者として PC-DMIS を実行する場合にのみ表示されます。* このメニュー項目は測定ルーチンからテンプレートを作成します。**テンプレートを追加**ダイアログボックスが開き、テンプレートの名前および記述を入力することができます。テンプレートは測定ルーチンで繰り返し使うコマンドがある場合に役立ちます。測定ルーチンでそれらのコマンドを設

定し、それからテンプレートを作成することができます。このプロセスについて詳しくは、「測定ルーチンのテンプレートを使用」を参照してください。

- **お気に入りを削除** - このメニュー項目は測定ルーチンを**お気に入り**ビューから削除します。
- **最近のものを削除** - このメニュー項目は測定ルーチンを**最近**ビューから削除します。
- **テンプレートを編集** - *このメニュー項目は管理者としてPC-DMIS を実行する場合にのみ表示されます。*このメニュー項目は**テンプレートを編集**ダイアログボックスを開いて、テンプレートの記述を変更できるようにします。
- **テンプレートを削除** - このメニュー項目はテンプレートを**新規**ビューから削除します。

ルーチンの作成

1. ホームページから、「**ホーム**」をクリックします。
2. **新規ルーチンタイル**をクリックして、**測定ルーチンを新規作成**ダイアログボックスを表示します。
3. ダイアログボックスに記入し、[**OK**]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

PC-DMIS はまた、**最近**ビューにもルーチンを追加します。

測定ルーチンテンプレートの使用

測定ルーチンテンプレートとして機能する測定ルーチンまたは測定ルーチンの一部を作成することができます。次に、ホームページでこの測定ルーチンから他の測定ルーチンを作ることができます。これは、新しい測定ルーチンのために同一コマンドを繰り返し作成する場合が多いときに便利です。

ルーチンからテンプレートを追加する

1. 管理者として PC-DMIS を実行します。
2. ホームページで、その測定ルーチンのタイトルから...メニューオプションにアクセスします。
3. **テンプレートを追加**を選択して**テンプレートを追加**ダイアログボックスを表示します。
4. **テンプレート名**でテンプレートに意味が分かりやす名前を付けます。
5. **記述**にテンプレートの記述を入力します。
6. **単位**でテンプレートの測定単位を選択します。
7. **OK** をクリックしてテンプレートを作成し、左ペインの**新規**ビューに追加します。

デフォルトでは、テンプレートには最初の `LOADPROBE` および `TIP` コマンドから測定ルーチンの最後までのすべてのコマンドが含まれています。

PC-DMIS はテンプレートを以下の場所にあるテンプレート名に一致するフォルダーに保存します。

C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\2020 R1\Templates\

テンプレートの元になるものをコントロールする

測定ルーチンの一部分だけをテンプレートコマンドとして組み込む場合、特別の開始および終了ドキュメントコメントを使って、それをコントロールすることができます。

1. テンプレートとして使いたい測定ルーチンを開きます。
2. 任意の新しい測定ルーチンに挿入したいコマンドを決めます。
3. 以下のドキュメントコメントを実際に挿入したいコマンドを組み合わせます

    - #TEMPLATE_COMMAND_START_POINT#
    - #TEMPLATE COMMAND_END_POINT#

テンプレート開始コメントとテンプレート終了コメントの間にあるコマンドは、ユーザーがテンプレートから新しい測定ルーチンを作成するときに、PC-DMIS がそれに追加するものです。PC-DMIS はそれらのコメントの*外側*にあるコマンドを除外します。

4. 測定ルーチンを保存して閉じます。

テンプレートからルーチンを作成する

1. ホームページの左ペインで**新規**をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
2. **新規**ビューから新しい測定ルーチンを作る元になるテンプレートを選択します。
3. 右ペインで以下の項目を記入します

    - **パート名**にパートの名前を入力します。PC-DMIS は測定ルーチンのファイル名にこれを使用します。
    - **場所**で測定ルーチンを保存する場所を定義します。
    - 必要に応じて**シリアル番号**と**改訂番号**を記入します。
    - **単位**でテンプレートで使用されるのと同じ単位を選択します。
    - PC-DMIS がオンラインモードにあり、ユーザーがオフライン測定ルーチンのための PC-DMIS 機能を持っている場合、測定ルーチンを測定機に接続したいか、またはそれがオフライン測定ルーチンであるかどうかを決定します。測定ルーチンを測定機に接続したい場合は、**オンラインの作成**オプションをオンにします。オフライン測定ルーチンを希望する場合は、**オンラインの作成**オプションをオフにします。

4. **作成**をクリックして、測定ルーチンを作成します。

テンプレートの記述を編集する

1. 管理者として PC-DMIS を実行します。
2. ホームページの左ペインで**新規**をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
3. **新規**ビューから、その記述を変更したいテンプレートを選択します。
4. **...**メニューオプションで**テンプレートの編集**をクリックします。
5. **テンプレートの編集**ダイアログボックスで、**記述**を変更して **OK** をクリックします。

テンプレートのコマンドを編集する

1. ファイルエクスプローラで PC-DMIS がテンプレートを保存する以下のフォルダに移動します

   C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\2020 R1\Templates

2. テンプレートのフォルダを見つけます。フォルダ名はテンプレートの名前と同じです。
3. そのフォルダ内で **MM** または **Inch** フォルダのいずれかを開きます。
4. .prg をダブルクリックして PC-DMIS の内部で開きます。
5. その.prg を変更して保存します。

テンプレートを変更する他の方法は元の測定ルーチンを変更して、同じ名前でテンプレートを再度作成することです。

テンプレートを削除する

新規ビューからテンプレートの記述を変更できます。

1. 管理者として PC-DMIS を実行します。

2. ホームページの左ペインで**新規**をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
3. **新規**ビューから、削除したいテンプレートを選択します。
4. **...**メニューで**テンプレートの削除**をクリックします。

ルーチンを開く

1. ホームページから、[**ホーム**]、[**最近**]、[**お気に入り**]、または[**開く**]のいずれかのビューをクリックします。
2. 開きたいタイルをダブルクリックします。または、タイルを 1 回クリックして[**...**]メニューから[**開く**]をクリックすることもできます。

PC-DMIS はまた、**最近**ビューにもルーチンを追加します。

最近からのルーチンの削除

1. ホームページから、**最近**ビューをクリックします。
2. 1 つ以上のルーチンタイルを選択します。
3. タイルの右上に表示される**...**メニューをクリックします。
4. [**最近を削除**]をクリックして、**最近**のビューからルーチンを削除します。

お気に入りに項目を追加する

1. ホームページから、1 つまたは複数の測定ルーチン、フォルダまたはビデオを選択します。
2. いずれかの測定ルーチンの右上に表示される**...**メニューをクリックしてください。

3. **お気に入りの追加**を選択します。
4. **お気に入り**ビューをクリックして、新しく追加した項目を表示します。

[...]メニューを使用して、項目を**[お気に入り]**に追加することもできます。詳しくは、「...メニュー」を参照してください。

お気に入りから項目を削除する

1. ホームページの**お気に入り**ビューから、1 つ以上のルーチン、フォルダ、またはビデオを選択します。
2. いずれかのルーチンの右上に表示される**...**メニューをクリックしてください。
3. **お気に入りを削除**を選択します。

[...]メニューを使用して、**お気に入り**から項目を削除することもできます。詳しくは、「...メニュー」を参照してください。

テーマを変更する

1. ホームページの左側のサイドバーから、**設定**をクリックして**設定**画面を表示します。
2. **設定**画面から、**現在**のテーマを**明**または**暗**に変更します。
3. PC-DMIS を再起動します。

ルーチンの場所を追加する

1. 管理者として PC-DMIS を実行します。

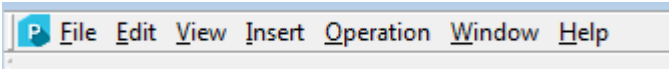
2. ホームページの左側のサイドバーから、**設定**をクリックして**設定**画面を表示します。
3. [**設定**]画面から、[**ユーザーフォルダを新規作成**]をクリックして新しいフォルダの場所を定義します。
4. 新しいフォルダに対して、**ラベル**、**パス**、および**拡張子**の値を定義します。
5. **確認**ボタン ( ) をクリックして新しい場所を受け入れます。
6. **開く**ビューをクリックして、新しく追加されたフォルダを表示します。

ホームページを無効化する

1. 測定ルーチンを開くか作成します。
2. **編集|カスタム設定|セットアップ**を選択して**セットアップのオプション**ダイアログボックスを表示します。
3. [**セットアップオプション**]ダイアログボックスで、[**全般**]タブをクリックします。
4. [**全般**]タブのチェックボックスの一覧から、[**ホームページを表示**]をオフにします。
5. [**OK**]をクリックしてダイアログボックスを閉じ、変更内容を確定します。

次回すべてのルーチンを閉じるときには、ホームページは表示されません。

メニュー バー



下記のトピックは各メニューの簡単な説明を提供します。詳しくは、必要に応じて適切な章を参照してください。また、PC-DMIS には、色々なショートカットメニューがあります。これらは「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用: はじめに」の章で説明しています。

特定のメニュー項目のヘルプを表示するには、メニュー項目の上にマウスポインタを置き、F1 キーを押します。

ファイル

ファイルメニューでは、ファイルをオープン、保存、印刷したり、編集ウィンドウをアクセスしたり、実行モードで測定ルーチンを実行したり、または測定ルーチンから終了することができます。さらに詳しい説明については、「基本的なファイルオプションの使用: はじめに」及び「高度なファイルオプションの使用: はじめに」章を参照して下さい。

編集

[編集]メニューでは、測定ルーチンのユーザー設定、測定ルーチンまたは CAD 表示を編集できます。

- 優先設定を編集するには、「優先設定: はじめに」の章を参照してください。
- 編集ウィンドウで測定ルーチンを編集するための詳細については、「測定ルーチンの編集：概要」と「編集ウィンドウの使用 : 概要」の章を参照してください。
- CAD 図面の表示を編集するには、「CAD 表示の編集: はじめに」の章を参照してください。

表示

ビューメニューでは、全てのウィンドウ、エディタ、及び PC-DMIS 利用可能なツールバーにアクセスできます。完全な情報については、「その他のウィンドウ、エディタ、及びツールの使用: 概要」の章を参照してください。

挿入

測定ルーチンの一連のコマンドには**挿入**メニューからアクセスできます。

本文書を構成するほとんどの章は、このメニューに表示されるオプションとサブメニューに由来します。

- 「**ハードウェアの定義**」 サブメニューのオプションについては「ハードウェアの定義」の章で説明されています。
- **要素**サブメニューのオプションは以下の章で説明されています:「要素の自動作成」、「測定された要素の作成」、「既存の要素から新要素の作成」、「一般要素の作成」。
- **アラインメント**サブメニューのオプションは「アラインメントの作成と使用」の章で説明されています。
- **寸法**サブメニューのオプションは「旧式寸法の使用」の章で説明されます。
- **スキャン** サブメニューのオプションは「パートのスキャン」の章で説明されています。
- **移動** サブメニューのオプションは「移動コマンドの挿入」の章で説明されています。
- **フローコントロールコマンド**サブメニューのオプションは「フローコントロールを使用した分枝」の章で説明されています。
- **統計コマンド**サブメニューのオプションは「統計データのトラッキング」の章で説明されています。
- **レポートコマンド**サブメニューは、Diminfo および Pointinfo ボックスを CAD 表示および測定ルーチンに追加する機能も備えており、「レポートコマンドの挿入」の章に記載されています。
- **ファイル I/O コマンド**サブメニューのオプションは「ファイル入力/出力の使用」の章で説明されています。

- **モジュール**サブメニューのオプションは、PC-DMIS とともにインストールされたツールキットモジュールを示しています。
- **挿入** メニューの残りオプションは、「式及び変数の使用」の章と「外部要素の追加」の章で説明されています。

操作

操作 メニューの項目はドキュメントの様々なトピックに説明されます。

ｳｨﾝﾄﾞｳ

[**ウィンドウ**]メニューでは開いているすべての測定ルーチンの表示を管理できます。「複数ウィンドウの操作と表示」の章を参照してください。

ヘルプ

[**ヘルプ**]メニューには、次のメニュー･アイテムがあります：

索引 - このアイテムは PC-DMIS ヘルプファイルを開きます。このヘルプ･ファイルは PC-DMIS コマンド、ダイアログ ボックス、メニュー項目、メッセージなどの総合的な情報を提供します。PC-DMIS ヘルプファイルをアクティブにするには、[**ヘルプ**]メニューから、いつでもこの項目を選択するか、または F1 キーを押します。インストールの後に初めてヘルプを実行する時は、数秒かかることがあります。その後、それはより速く開きます。

ヘルプの使用 - このアイテムは「オンラインヘルプの使用」の章に PC-DMIS ヘルプファイルを開きます。そこにあるトピックでは、ヘルプ内の情報の検索と検索に関するヒントを紹介しています。

オフラインヘルプ - この項目は、ヘルプコンテンツにアクセスするたびに、PC-DMIS がオフラインヘルプを表示するかどうかを決定します。このメニュー項目の隣にあるチェックマークは、インターネットにアクセスできる場合でも PC-DMIS がオフラインヘルプを使用することを意味します。チェックマークが付いていない場合、PC-DMIS はオンラインヘルプを使用します。インターネットにアクセスできず、オフラインヘルプがインストールされていない場合、インターネットに接続するか、オフラインヘルプをインストールする必要があることを知らせるメッセージが表示されます。

リリースノート - この項目は、このバージョンのソフトウェアに同梱されている readme.pdf ファイルです。readme.pdf には、このバージョンの PC-DMIS に関する情報が含まれています。から Web ブラウザでリリースノートを見ることもできます。

バージョンの情報 - このアイテムは**バージョンの情報**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、特定のバージョンとライセンス情報が表示されます。それはまたユーザのコンピュータに固有の**測定機 ID** を提供し、それはいくつかのステータスと通知メッセージで使われるかもしれません。

キーボードを用いての、メニュー バーからのオプション選択

キーボードを使用してメニューを開き、オプションを参照するには、Alt キーを押し、開きたいメニュー名で下線が付いている文字を押します。

キーボードを使用して**ビュー** メニューを開くには、ALT と V (下線付きの文字)を押します。同じような方法でメニューからオプションを選択できます。対応するオプションの下線付きの文字を押すだけです (つまり、Cut(切り取り) の場合: T キーを押します)。

また、メニューは矢印キーでも開くことができます。

手順は次のとおりです:

1. メニュー バーに切り換えるには、ALT キーを押して下さい。
2. 目的のメニューに移動するには、左/右矢印キーを使用します。
3. オプションを選択するには、上/下矢印キーを使用します。
4. ご希望のオプションがハイライトで表示されたら、入力キーを押して下さい。

また、ショートカット キーには、多数のオプションが割り当てられています。ショートカットキーはコマンドまたはオプションの右側に表示されます。

さらに詳しい情報について、「ショートカットキーおよびメニューの使用」の章を参照してください。

ツール バー エリア

PC-DMIS は頻繁に使用されるコマンドで構成された様々なツールバーを提供します。これらのツール バーは、二つの方法のうちいずれかを用いてアクセスすることができます。

1. **像 | ツール バー** サブメニューを選び、現れたメニューからツール バーを選択して下さい。
2. PC-DMIS の**ツールバー**エリアを右クリックし、現れたショートカット メニューからツール バーを選択して下さい。

ツールバーエリアにツールバーが置かれたら、まず左または右のエッジとボタンの間のスペースをクリックして、ツールバーを別の場所にドラッグすることでツールバーを移動できます。

PC-DMIS ツールバーに関する詳細な説明については、「ツールバーの使用」の章を参照してください。

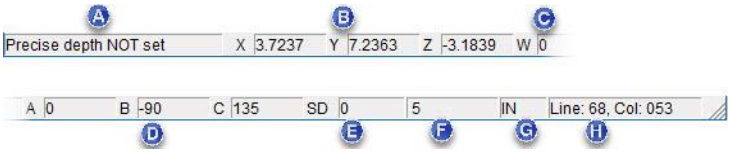
グラフィックの表示ウィンドウ

グラフィックの表示ウィンドウはグラフィックを非常に簡単に表示します。測定ルーチンを作成またはそれにアクセスしているとき、デフォルトではこのウィンドウが開きます。このウィンドウを表示または非表示にするには、 **表示| グラフィックの表示ウィンドウ**メニューオプションを選択します。このウィンドウは下記を表示します:

- このウィンドウは、インポートされた CAD パーツ、プローブ、任意のシミュレートされた測定機や固定具などを、複数の画面で画像表示します。
- 測定要素、自動要素、及び作成された要素とそれらの ID ラベル
- スキャン、寸法、GD&T コールアウト、およびテキストボックスが表示されます。

グラフィックの表示ウィンドウは PC-DMIS の不可欠な部分です。グラフィックの表示ウィンドウの編集、および画面表示を変更することについては、「CAD 表示の編集」の章を参照してください。

ステータス バー



ステータスバーには次のように表示されます：

A. **メッセージボックス:** 一番左のボックスは現在のプロシージャまたはコマンドに関係つける手順およびその他の情報を示します。
B. **X、 Y、および Z ボックス:** これらのボックスはプローブの X、 Y、及び Z 位置を示します。ステータスバー内の 3 つの座標のうち任意の一つをクリックすると[**点の自動移動**]ダイアログボックスが現れます。 (DCC の点移動に関する詳し

い情報は移動コマンドの挿入の章にある「点の移動コマンドの挿入」を参照してください)

C. **W:** 回転テーブルの角度:

D. **A、B、C ボックス**：これらのボックスには、CMS プローブなどの 3 軸のリストプローブの A、B、C の手首角度が表示されます。お使いの手首プローブは 2 つの軸のみを支援します。その場合、ステータスバーのこの部分には A と B のみが表示されます。

E. **SD:** これは最後の要素測定の標準偏差を示します。

F. **ヒット#:** 現在取られるヒット数を示します。

G. **IN/MM:** これは測定ルーチンで使用される現在の測定の単位を示します。

H. **行:** ボックスは編集レポートにカーソルの位置の現在の行を表示する番号を示します。**列:** テキストは編集レポートにカーソルの位置の現在の列を表示する番号を示します。

ステータス バー操作

- ステータス バーを拡大する場合、[**表示 | ステータス バー | 拡大**]を選択します。サイズが大きくなっているため、この大きなステータスバーには、**メッセージ**、**XYZ**、**SD**、**ヒット数：**、**行：**および**列：**ボックスのみが表示されます。

- ステータスバーを通常のサイズに戻すには、**ビュー| ステータス バー| 標準**を選択します。
- ステータス バーを表示または非表示するには、**表示 | ステータス バー | ステータスバーを隠す**を選択します。

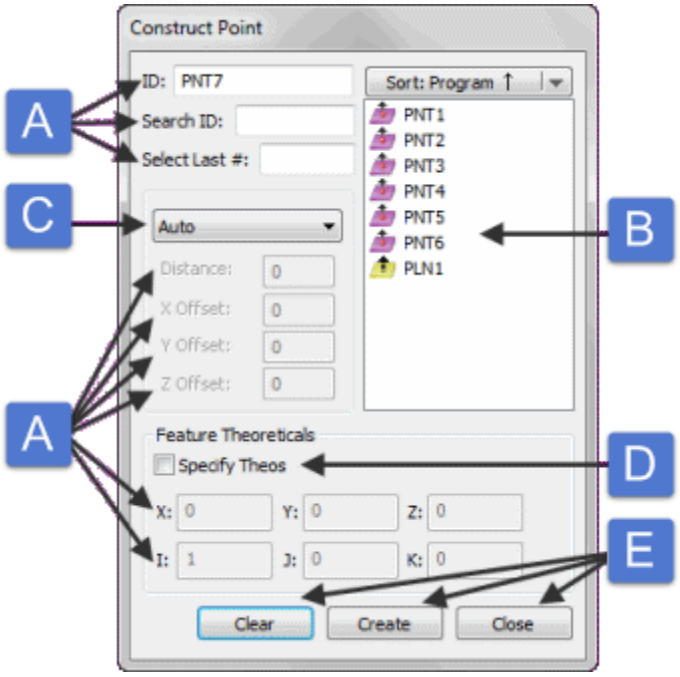
ダイアログ ボックスの内容

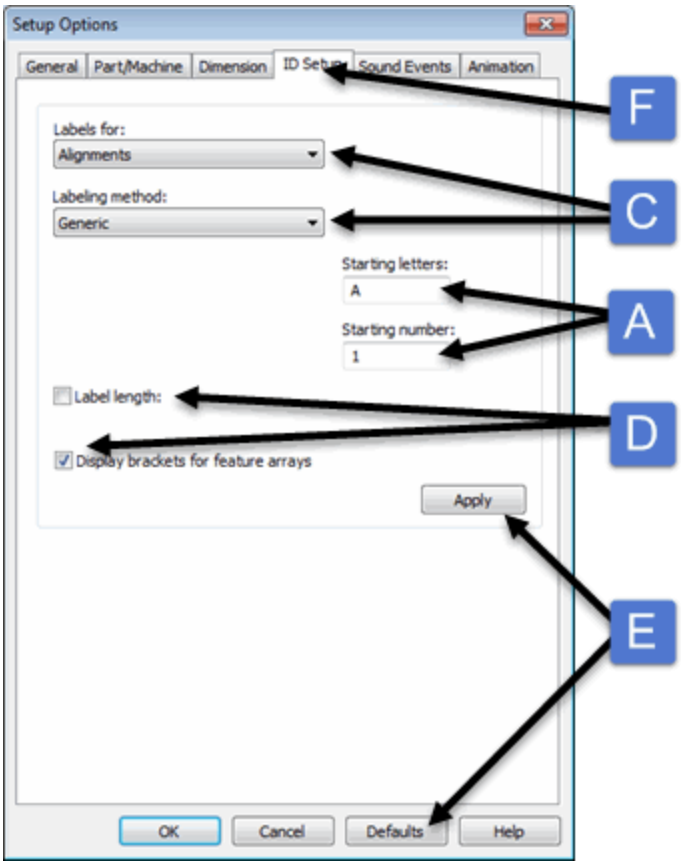
ダイアログボックスにはコマンドの実行方法を PC-DMIS に指示するために選択できる様々なボックスおよびボタン (コントロールと呼ばれます) があります。ダイアログボ

ックスは時には選択済みのデフォルト設定を表示し、変更の必要がない場合はデフォルトのままにしておくことができます。ダイアログボックスの変更後、**OK** をクリックしてコマンドを実行します。コマンドを取り消してダイアログボックスを閉じるには、**取り消し**ボタンをクリックします。

グラフィックは PC-DMIS にほとんどのダイアログボックスのいくつかの共通の要素を説明します。

ダイアログ ボックスの内容





A - 編集ボックスまたはフィールズ

B - List Box 一覧ボックス：

C - ドロップダウンリストボックス

D - チェックボックス

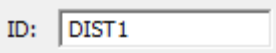
E - コマンド ボタン

F - タブ

編集ボックス

編集ボックスで目的の値または名前を入力します。本文書では、手動編集ボックスは単に「ボックス」と表記されます。PC-DMIS の多くのダイアログボックスで使われている、編集ボックスを以下に列挙します：

ID=[フィーチャー]



このボックスは要素、寸法 ID または作成される要素と寸法の名前を示します。

ID を変更するには：

1. 直前に表示されていた ID を選択して下さい。
2. 新 ID をタイプして下さい。
3. タブ キーを押して下さい。

測定寸法 ID の変更について：

- ID の数字部分のみ変更し、測定結果のカウンターを任意の数字にリセットすることができます。

- ID のテキスト部分のみを変更し、次の測定結果からデフォルトのテキストとして設定することができます。(「ユーザー設定」章にある [**設定オプション**] ダイアログ ボックスの [**ID 設定**] タブを参照してください。)

ID を探す

Search ID:

ID を検索ボックスでは、現在の操作に使用する要素 (または寸法) ID をキー入力できます。このボックスを使用すると、メタキャラクタ検索オプションを用いた検索が可能です。要素 または寸法 ID は、適切な **要素リスト** ボックス(または**寸法リスト** ボックス) にハイライトされます。

ID を検索 ボックスに要素 ID を入力してまた ENTER を押す場合、 PC-DMIS は**要素リスト** または**寸法リスト** ボックスからの要素を選択します。

直前のいくつかを選択

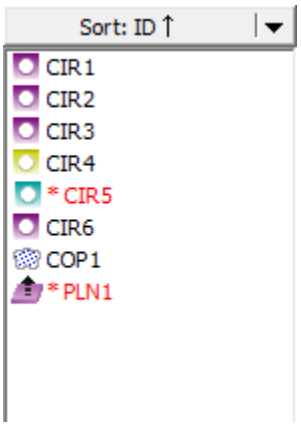
Select Last #:

最終要素からの選択数 ボックスでは、要素 (または寸法) の最後から特定の数を選択できます。例えば、 最後に作成された四つの要素を選択したい時、単に **4** を入力して TAB キーを押します。PC-DMIS は**要素リスト** ボックスに選択された要素をハイライトします。

一覧ボックス

リストボックスは編集ボックスと似ていますが、リスト表示された値を変更することはできません。この文書では、リストボックスは「リスト」または「ボックス」と呼びます。PC-DMIS の多くのダイアログボックスで使われている、リストを以下に列挙します：

要素リストボックス



要素リストボックス

要素リスト ボックスは測定ルーチン内で利用可能な要素のリストから成ります。PC-DMIS は、選択した要素を使用してアラインメントを定義し、新しい要素を作成し、寸法を作成し、他のタスクを実行します。CAD 表示の編集の章にあるグラフィックス表示ウインドウを使用した要素の選択トピックに記載された指示に従って要素を選択してください。

グラフィカルヒットの選択方法を使用して、整列、構成または寸法の入力を選択することもできます。詳細については、「図形ヒットの選択方法」を参照してください。

QuickFeature 機能を使用する場合は、ダイアログボックスが開いた状態で新規要素を追加できます。PC-DMIS は、作成時にリスト内の要素を選択します。QuickFeature の作成の詳細については、「自動要素の作成」の章の「QuickFeatures の作成」を参照してください。

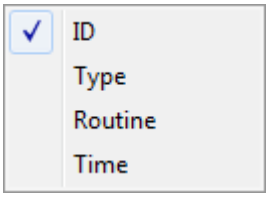
左側にアスタリスク (*) の付いた赤色のテキストで表示された要素は、測定ルーチン実行中にスキップされた要素であることを示します。

選択された (強調表示されている) 要素を選択解除するには、[**クリア**]または[**リストをクリア**]ボタンを使用します。

外部測定ルーチンを添付している場合 (「外部要素の追加」 章の「外部測定ルーチンの添付」を参照) 、PC-DMIS は 添付された測定ルーチンの参照に使用する変数 (または ポインタ) も一覧表示します。プラス記号 (+) がポインタの左に表示されます。このプラス記号をクリックすると、添付された測定ルーチンの全要素が展開または折り畳み表示されます。

要素の並べ替え

[要素の一覧] ボックスの上にあるドロップダウン矢印ボタンをクリックすると、以下に示すように利用可能な様々な並べ替え方法が表示されます。



要素の一覧の並べ替えメニュー

選択が行われたら、選択したオプションをもとに自動的にリストが並べ替えられます。リストに新しい項目が追加された場合、**[並べ替え]** ボタンをクリックすると、ボタンに表示されている現在の並べ替えオプションに基づいてリストが再度並べ替えられます。ボタンを再度クリックすると、表示された並べ替え方法の右にある上 (または下) 矢印に示すようにリストが逆順に並べ替えられます。

定義されたオプションの並べ替え

- **ID** - 要素 ID に基づいてリストをアルファベット順に並べ替えます。
- **タイプ** - 要素タイプごとに並べ替えます。この場合、要素の ID は第二並べ替え条件として使用されます。
- **ルーチン** - 要素が測定ルーチン内で表示される順番に基づいてリストを並べ替えます。
- **時間** - 最後に測定された要素の時間に基づいてリストを並べ替えます。

測定寸法一覧ボックス

測定結果リストボックスは測定ルーチンに作成されたすべての測定結果のリストから成ります。リストボックスから希望の測定結果を選択し、関連するダイアログボックスで希望の変更またはオプションを選択することによって、測定結果を編集したり分析することができます。ユーザは、Ctrl または Shift を押す同時に、もう一つの寸法をクリックすることによって、一度に複数の寸法を選ぶことができます。

寸法情報の編集ダイアログボックス内で、寸法が既に寸法情報ボックスに関連付けられている場合、PC-DMIS はリストの寸法 ID の隣に星印 (*) を付けて表示します。寸法情報が現在のビューのどれにも表示されていない場合、ID の隣にシャープ記号 (#) が付きます。

例えば、CIR4 という名前の円に対して RND1 という名前の真円度の測定結果を仮定します。この真円度の測定結果には既に関連する DIMINFO ボックスが付いているが、DIMINFO ボックスはグラフィックの表示ウィンドウのすべてのビューから隠れている場合、リスト内の ID は次のように表示されます:

RND1->CIR4->*#

アスタリスクと番号記号のシンボルの例

オプション ボタン

エリアはダイアログ ボックスに利用可能な機会を示すオプション・ボタンを含みます。希望ボタンへのクリックで利用可能な機会の間にスイッチします。オプションを選択している場合、選択されたオプションの左に黒丸が示し、その他の全部のオプションはクリアされます。そのエリアからは 1 つだけのオプション・ボタンを選択することができます。

チェックボックス

チェックボックスをクリックしてオプションをオンまたはオフにします。オプションはチェックマークがボックス内に表示されたときに「オン」と見なされます。複数のチェックボックスを選択できます。

コマンドボタンは、動作を実行します。PC-DMIS のほとんどのダイアログボックスに共通のコマンドボタンは次のとおりです：

適用 このボタンはダイアログボックスへの選択を適用してもっとの変更にダイアログボックスを開いたままにします。

OK ボタンは変更の保存と適用またはダイアログ ボックスの終了ができます。一部のダイアログボックスでは、このボタンは編集ウィンドウにコマンドを挿入します。

キャンセル - このボタンを押すとすべての変更を無視し、ダイアログボックスを閉じます。

削除 - このボタンは特定のリストボックスから項目(作成済の要素、寸法、プローブ・ファイル、整列情報など) を除去します。**CAD を削除** ダイアログ ボックスに、**削除** コマンド・ボタンは選択した理論値要素を削除します。詳細については、「CAD の削除」を参照してください。

最後 - このボタンでは、関連する一覧ボックスから最後の項目を選択できます。

最後のふたつ - ボタンで関連する一覧ボックスから最後の二つの項目を選択できます。

すべてを選択 - このボタンで関連付けられているリストボックスにすべての項目を選択します。

デフォルト - このボタンはいくつかのパラメータのデフォルト設定を更新します。新しい測定ルーチンを作成すると、デフォルト値として保存されているすべての変更点が反映されます。

このデフォルト値はレジストリに保存されます。適切なダイアログボックスでこれらのパラメータを更新するか、または *PC-DMIS Settings Editor* を使用してレジストリ自体を編集できます。このアプリケーションは PC-DMIS でインストール設定に含まれています。より詳しい情報については「レジストリ エントリーの変更」を参照してください。

- [**デフォルト**]ボタンをクリックしないで[**OK**]ボタンをクリックすると、定義したパラメータがアクティブな測定ルーチンにのみ適用され、レジストリのエントリー変更は行われません。
- パラメータを変更し、**デフォルト** ボタンをクリックする場合、 PC-DMIS はレジストリエントリーを更新して、デフォルトをその時点のエントリーと再定義します。

デフォルトボタンで、後に作成された新しい測定ルーチンに新しいデフォルト値を保存および適用できます。

リコー - このボタンを使用して、**デフォルト** ボタンをクリックすることにより、オリジナル値が変更されていない限り、元の工場出荷時の設定を呼び戻すことができます。その場合では PC-DMIS はレジストリに保存した値を回復します。

測定機オプション ダイアログ ボックスを使って、コントローラから工場出荷時の設定を読み取り復元する情報については、「測定機のセットアップ インターフェース」「優先設定」の章を参照して下さい。

作成 - このボタンは特定のダイアログボックスに加えられた変更を適用し、要素、寸法、スキャンなどを作成します。次にそれが作成された項目を編集ウィンドウとグラフィック表示ウィンドウに配置します。

作成ボタンではダイアログ ボックスを閉じません。ダイアログボックスを閉じるには、**閉じる**ボタンをクリックします。

閉じる - このボタンはダイアログボックスを閉じます。いくつかのダイアログボックス (それ以上のオプションを選択したい場所) では **OK**、 **適用** 、または**作成**ボタンで自動にダイアログボックスを閉じません。

クリア - このコマンドボタンは、リストボックスから選択したアイテムのハイライトをクリアします。場合によっては、このボタンをクリックすると、特定のリストボックスから項目が完全に削除されます (**新角度のリスト**ボックスからの AB 位置など) 。

いくつかのダイアログ ボックスとタブに **クリア** ボタンは **適用** または **OK** ボタンはクリックされて PC-DMIS に現在の「建設」値を回復する前に入力また変更された任意の値をクリアします。**デフォルト** ボタンを使用してデフォルト値を保存したい場合、PC-DMIS はそれらの値を保存します。

元に戻す - このボタンは **適用**ボタン(または DCC のスキャン**全般** ボタン) の操作を元に戻します。一度 **OK** ボタンをクリックすると、変更を元に戻すことはできません。

ヘルプ - このボタンでは、現在ダイアログ ボックスと関連するオンライン･ヘルプのトピックを開きます。

ダイアログ ボックスのタブ

ダイアログ ボックスの中には、タブを含むものがあります。識別マーカーとして、これらのタブファイリングキャビネット内のフォルダの名前と同じようになります。簡単にタブにクリックして希望のウィンドウまたはほかのタブの前のオプションをもたらします。タブに関連付けられたすべてのオプションやコマンドは表示されます。

ドロップダウンリストボックス

ドロップダウン一覧ボックスはメニューのよう作業します。その時点での選択物の右にあるドロップダウン 矢印アイコン をクリックするか、キーボード上の ALT キーとアップ矢印キーまたはダウン矢印キーを押して下さい。また、F4 を押しても、利用可能なオプションが表示されます。一覧を閉じるには、F4 キーを再度押して下さい。現在の選択がハイライトボックスに表示されます。

アクセスダイアログボックスのオプション

マウスまたはキーボードを使用して、ダイアログボックス内のオプションにアクセスできます。マウスを使用してオプションにアクセスするには、目的のオプションをポイントしてクリックします。

キーボードを用いれば、利用可能なオプションの間を様々な方法で移動できます:

- 次に使用可能なオプションに移動するには、**Tab** キーを押します。
- 前の利用可能なオプションに移動するには、 **Shift+Tab** を押します。
- 現時点のドロップダウンリストを表示するには、**Arrow** キーを押します。
- 現時点のコマンドを選択するには、 **Enter** キーを押します。
- 現時点のチェックボックスまたはボタンを選択するには、**Space Bar** を押します。

編集ウィンドウをスクロール

編集ウィンドウは、ダイアログ ボックスと同じように移動できます。「ダイアログ ボックスの移動」を参照してください

編集ウィンドウでは、スクロールバーを使って、ウィンドウ内のデータをより多く見ることができます。

スクロールするには：

1. マウスポインターをスクロール矢印の上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンをクリックまたは押さえ続けて下さい。

PC-DMIS は、スクロール矢印の指す方向にテキストをスクロールします。例えば、スクロールダウンするには、下向きのスクロール矢印をポインターで選び、マウスの左ボタンをクリックして下さい。

編集ウィンドウについて詳しくは、「測定ルーチンの編集」と「編集ウィンドウの使用」の章を参照してください。

ダイアログ ボックスの移動

マウスを使って、ウィンドウやダイアログボックスを移動することができます。

ダイアログ ボックスまたはウィンドウを移動するには：

1. マウスポインターをタイトルバーの上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンを押さえ続けて下さい。
3. グラフィックス表示ウィンドウの希望の位置にダイアログボックスまたはウィンドウをドラッグします。
4. マウスボタンをリリースします。

PC-DMIS ダイアログボックスまたはウィンドウを新しい場所に移動します。

PC-DMIS は、さまざまな PC-DMIS ダイアログボックスの最後の位置を格納します。ダイアログボックスを再度開く場合、最後に使用した場所 (複数のモニタ間でも) でダイアログボックスが開きます。

PC-DMIS を別のモニタに移動すると、PC-DMIS はダイアログボックスの位置をリセットします。つまり、ダイアログボックスをそのモニターのデフォルトの位置に開きます。

ユーザーインタフェースの他の部分にいくつかのダイアログボックスおよびその他のインターフェイス要素をドッキングすることができます。これらのダイアログボックスは移動前に、ドッキング解除しなければならない場合があります。UI エレメントのドックおよびドック解除する方法について詳しくは、「ユーザーインタフェースエレメントのドックおよびドック解除」を参照してください。

ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

メニューの再編成、独自のプログラムをメニューへ追加、または新しいメニューとオプションを同時に作成することが可能です。PC-DMIS で PC-DMIS にコマンドをネイティブにリンクして、ツールバーにコマンドをカスタマイズできます。ユーザーインターフェイスを変更する方法については、以下のトピックで説明します：

- デフォルト ユーザー インタフェースの回復
- ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ
- メニューのカスタマイズ
- ツール バーのカスタマイズ
- ショートカット キーのカスタマイズ

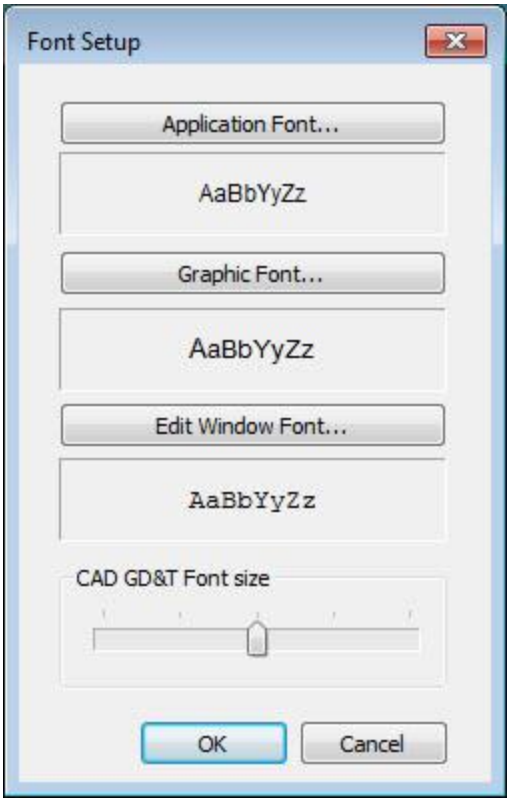
本文書の構成は、当バージョンの PC-DMIS で出荷されたデフォルト ユーザー インターフェースに基づいています。ユーザーインターフェースをカスタマイズすると、既存の文書の手順に従いにくくなることにご注意ください。

デフォルト ユーザー インタフェースの回復

PC-DMIS のこのバージョで出荷したデフォルト ユーザー インターフェースに PC-DMIS の概観を回復したい場合、以下の手順に従って下さい:

1. PC-DMIS を閉じて下さい。
2. PC-DMIS がインストールされた先のディレクトリに進んでください。
3. お手持ちの Windows ユーザープロフィールであるディレクトリにアクセスして下さい。
4. 起動している言語の三つの文字コードを参照するメニュー_xxx.dat という名前のファイルを削除します。英語について、menu_eng.dat を削除します。
5. PC-DMIS を再起動して下さい。それはデフォルト ユーザー インターフェースを使用します。

ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ



ﾌｫﾝﾄダイアログ ボックスの変更

フォント属性を変更するには、**[編集| ユーザー設定 | フォント]**メニューオプションを選択して、**[フォント設定]**ダイアログボックスにアクセスします。このダイアログボックスを使用してフォント属性を変更することができます。このフォント属性にはメインユーザーインタフェース、グラフィック表示ウィンドウおよび編集ウィンドウでのフォント、サイズ、スタイルなどがあります。

フォントを変更するには：

1. これらのオプションボタンの 1 つをクリックすると、標準**フォント**ダイアログボックスが表示されます：

    - **アプリケーションフォント** - これによってメインアプリケーションのフォントが変ります。　これには**設定**ツールバー上のリスト、プレビューウィ

ンドウ、読み出しウィンドウ、ステータスバー、メッセージボックスなどがあります。

- **グラフィックフォント** - これはグラフィック表示ウィンドウでのテキストのフォントを変更します。これは要素ラベル、測定結果情報、ポイント情報テキストボックスなどに影響を及ぼします。表示される**フォント**ダイアログボックスの**色**リストは CAD GD&T 特性 ID の背景色を設定します。「CAD 表示の編集」章の「CAD GD&T コールアウトでの作業」を参照してください。

- **編集ウィンドウフォント**–これは編集ウィンドウのフォントを変更します。編集ウィンドウでの推奨フォントについては下記の注を参照してください。

3. **フォント**ダイアログボックスでリストを使用してフォント変更を選択します。
4. **OK** をクリックして、**フォント**ダイアログ ボックスを閉じます。
5. **フォント設定**ダイアログボックスで **OK** をクリックして変更を確定します。

コンピュータシステムでは任意フォントを使用できますが、フォントの中にはスペースが均一でないものがあることに注意してください。これによってコンポーネントの一部が読みづらくなることがあります。編集ウィンドウのテキストでは、*Courier New* フォントなど、モノスペースの固定幅フォントを使用することをお勧めします。それ以外を選択すると、文字、行、見出しが期待通りに並ばないことがあります。

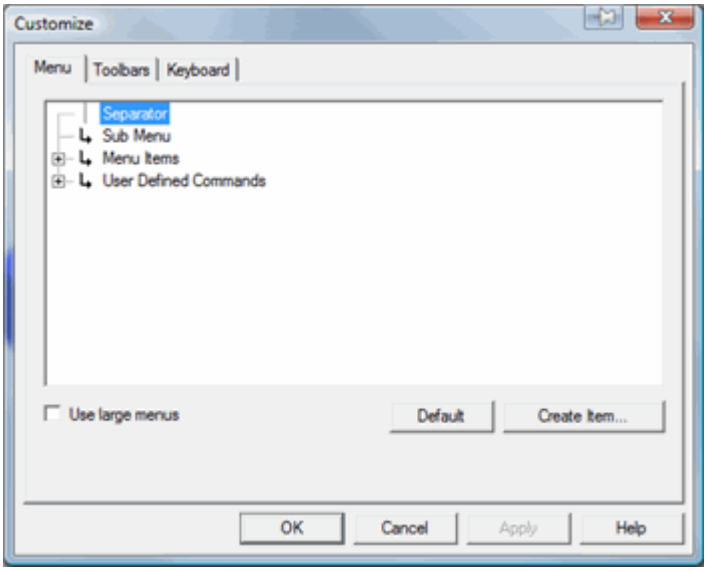
CAD GD&T フォントサイズ

このスライダを使用して、グラフィック表示ウィンドウに表示される任意の GD＆T CAD 要素のサイズを拡大/縮小することができます。中間点の上または下のそれぞれの増分は、フォントを 10%増減します。スライダを調整すると、フォントサイズがダイナミックに変更されます。変更されたフォントサイズを保持するには **OK** をクリックします。

メニューのカスタマイズ

メニューバーのメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **メニュー**タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - メニュータブ

このタブを用いて、新たなメニュー項目を加えたり、既存のメニュー項目を移動したり、メニュー項目をメニューバーから完全に除去することができます。

大きいメニューを使用チェックボックスを使用して大きいフォントに全部のメニュー項目を示します。大きなメニューサイズを適用するには PC-DMIS を再起動する必要があります。

メニュー項目の移動

メニュー バー上の新規の位置へ、メニュー項目を移動するには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. PC-DMIS 実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に移動したいメニュー項目を移動します。
3. 必要なメニュー項目を選択します。
4. 新しい位置にドラッグします。メニュー構造にアイテムをドラッグしている場合、アイテムが追加される場所を表示する小さな赤い矢印が現れます。
5. マウスボタンをリリースして下さい。メニューアイテムがその元の位置から新しい位置に移動されます。
6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

メニュー項目の削除/復元

メニュー バーからメニュー項目を除去するには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. PC-DMIS 実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)から削除したいメニュー項目に移動します。
3. 必要なメニュー項目を選択します。
4. それをメニュー バー エリアから外へドラッグして下さい。
5. マウスボタンをリリースすると、当該メニュー項目がメニューから除去されます。
6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

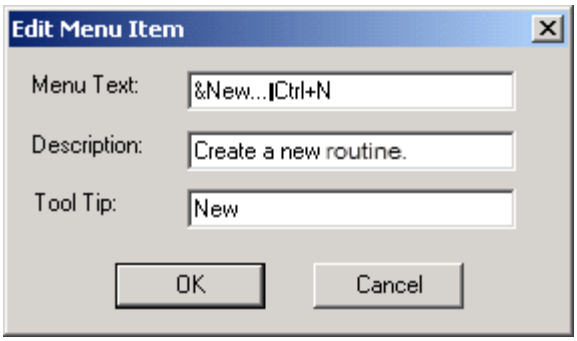
削除されたメニュー項目の回復:

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. 復元したいメニュー項目に**メニュー**ツリービューの一覧に移動します。
3. メニュー項目を選択して PC-DMIS 実際のメニューバーにドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印が現れます。
4. メニュー項目を挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。

既存メニュー項目の編集

既存のメニュー項目、項目名前、説明、及びヒントを編集できます。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. ダイアログ ボックスが開いた後、PC-DMIS のメニュー バー上をクリックして下さい。
3. PC-DMIS の実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に変更したいメニューバーの上に右クリックしてメニューを選択します。**メニュー項目を編集**ダイアログ ボックスが現れます。



「メニュー項目編集」ダイアログ ボックス

4. ダイアログ ボックスでメニュー項目を変更して **OK** をクリックします。
5. **カスタマイズ**ダイアログ ボックスで **OK** をクリックします。
6. 変更を検査します。

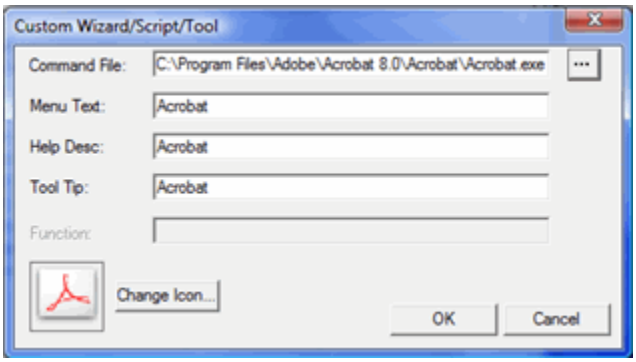
メニューテキスト ボックスでアンパサンド (&) の次の文字は、簡単にメニュー項目を選択するために Alt キーとともに使用する文字であることを示します(例えば、ALT + F + N を選択すると、**ファイルメニュー**項目から **NEW**(新規作成) メニュー項目にアクセスします)。

新メニュー項目の追加

自身のカスタムメニュー項目を作成でき、外部プログラムを結びまたはそれにバッチします。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. **項目を作成**ボタンをクリックします。**カスタム ウィザード / スクリプト / ツール**ダイアログ ボックスが現れます。
3. **[...]** ボタンをクリックします。**開く**ダイアログボックスが現れます。
4. ファイルの種類リストから、挿入する**ファイルの種類**を選択します。

5. カスタムアプリケーション、バッチファイル、BASIC スクリプトなどを含むディレクトリに進んで下さい。
6. 挿入されるファイルを選択し、**開く**をクリックして下さい。**開く**ダイアログ ボックスが閉じて、**ｶｽﾀﾑｳｨｻﾞｰﾄﾞ/ｽｸﾘﾌﾟﾄ/ﾂｰﾙ** ダイアログ ボックスが選択したカスタムプログラムに関連付けられるデフォルトの情報を示します。



カスタム ウィザード / スクリプト / ツールのダイアログ ボックスが、サンプルアプリケーションを示しています。

コマンドファイル:

ボックスはコマンドへのパスを示します。

メニューテキスト:

ボックスはアイテムのメニューに使用される名前を指定できます。

ヘルプの説明:

このボックスでは、マウスを項目の上に移動するときに PC-DMIS がステータスバーに示す情報を定義できます。

ツールチップ:

このボックスでは、マウスを項目の上に置いたときに表示されるヒントテキストを指定できます。これは、カスタム項目がツールバー (メニューではない) に追加された時のみ動作します。

関数:

カスタム BASIC スクリプトを使用しない限り、このボックスは使用できません。このボックスが有効になると、これを用いて、読み込まれた .bas ファイルから実行されるサブルーチン、または関数を定義することが可能です。丸括弧をつけ

ずに単にルーチン名を入力します。例えば、BASIC スクリプト実行中に、「TestFunction」と入力すると、TestFunction ルーチンが起動します。

変更アイコン:

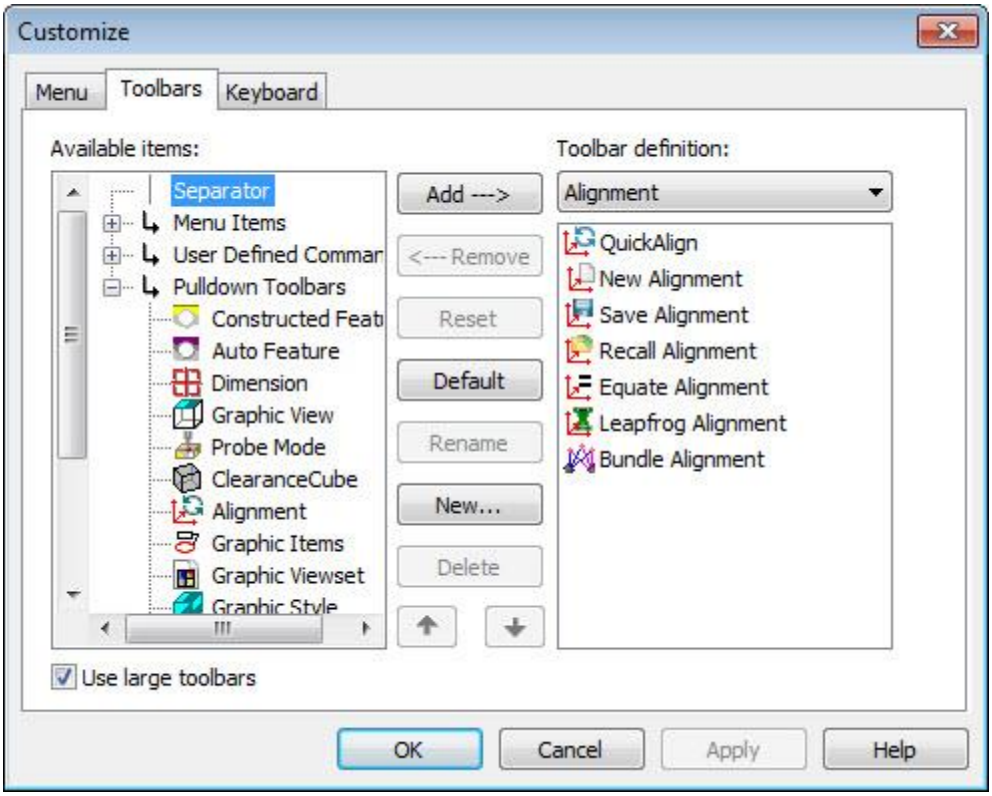
ボタンでメニュー項目の表示のアイコンを変更できます。

7. このダイアログ ボックス内で、その他の必要な変更を行って下さい。
8. 変更を確定するために、**OK** をクリックして下さい。PC-DMIS は **カスタマイズ** ダイアログ ボックスの**メニュー** タブに**ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ**ツリーに新しく作成したコマンドを挿入します。
9. **ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ**ツリービューリストを展開します。
10. 新規に作成されたコマンドを選択し、PC-DMIS の実際のメニューバー上にドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印が現れます。
11. コマンドを挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。
12. **カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。これで、新規に挿入されたメニュー項目がメニュー バーに表示されます。

ツール バーのカスタマイズ

メニューバーに示すメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **ツールバー** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - ツール バータブ

このタブを用いて、新ツール バーやツール バーアイコンを追加したり、プルダウンツールバーを新規を追加したり、カスタム ツール バーを除去したり、ツール バーアイコンを既存のツール バーに再設定することができます。

大きいツールバーを使用チェックボックスを使用して全部のツールバー・アイコンを大きいサイズに示します。**OK** または**適用**をクリックしている場合、この変更は自動に発生します。PC-DMIS を再起動する必要はありません。

既存のツール バーの変更

ユーザは、以下に述べるように、いくつかの方法で既存のツールバーを変更することができます。**ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。

メニュー項目をツールバーに追加するには:

1. **ツールバー定義のリスト**からツールバーを選択します。
2. **利用可能な項目リスト**に添加したい項目を見つかります。
3. それを選択して**→**を**追加** ボタンをクリックします。項目は目的のツールバーに表示されます。
4. **適用** をクリックしてから **OK** を押して変更を受けます。

ツールバーのアイコンを削除するには:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. リストに除去したい項目を見つかります (ダイアログの右側)
3. それを選択して**←除去**ボタンをクリックします。
4. **適用** をクリックしてから **OK** を押して変更を受けます。

既存ツール バーは少なくとも 1 つのアイコンを持つ必要があります。最後のアイコンを除去して**適用** または **OK** をクリックして、アイコンがツールバーに残ります。

変更内容を消去するには:

リセットボタンをクリックします。**OK** または**適用** ボタンがクリックされない限り、ツールバーは以前の状態に戻ります。

すべてのカスタマイズされたツールバーを削除して、 このバージョンで配布されたレイアウトをリストアします:

デフォルトボタンをクリックします。

新しいツールバーアイテムを新規作成するには:

新規をクリックします。 カスタム ウィザード / スクリプト / ツールダイアログ ボックスが現れます。項目を選択して追加します。

このドキュメントは上記の「 新規メニュ項目を追加するには」トピックにカスタム項目を追加するプロセスをカバーします。

ツールバーに項目の順序を並べ替えます:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. 移動したい項目を選択します。
3. 上向き矢印 または下向き矢印 ボタンをクリックしてリストのほかのツールバーアイコンの中にそれぞれに項目を上下に移動します。

ツール バーをリネームします:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. **名前を変更**をクリックします。**新しいツール バー名**ボックスが現れます。
3. ボックスに名前を入力して **OK** をクリックします。

また、PC-DMIS では、別の方法を用いて、カスタム ツール バー上のどの項目でもすばやく再編または削除することができます。Shift キーを使用できます。手順は以下のとおり:

ツールバーのアイコンの削除と再配置するには：

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. アイコンを*並べ替える*場合、ツールバーの新しい場所にドラッグします。
4. アイコンを*削除している*場合、それをツール バーの境界線外へドラッグして下さい。

5. マウスボタンをリリースして下さい。変更が行われます。

既存ツール バーがそれらにひとつ少なくとものアイコンを持つ必要があるので、このファッションに最後アイコンを除去すると、PC-DMIS を再起動するまでそれが除去のみ続けます。再開後に、アイコンが再び表示されます。

セパレータを追加するには：

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. それを少し (その位置を再編するほどの距離ではなく) 右にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。区切りがその左側に現れます。

セパレータを削除するには：

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックしてセパレーターの右へドラッグしてください。アイコンが移動可能になります。
3. 当該アイコンを区切りの左側にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。

カスタム ツール バーの作成

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **新規**とクリックして**ツールバー**を選択します。ツールバーの名前を要求する入力ボックスが表示されます

3. ツールバーの名前を入力して **OK** をクリックします。新しいツール バーが、**ツール バーの定義**リストに現れます。これで、ツールバーを変更して新規のツール バー アイコンを受け入れることができます (「既存のツール バーの変更」を参照して下さい) 。

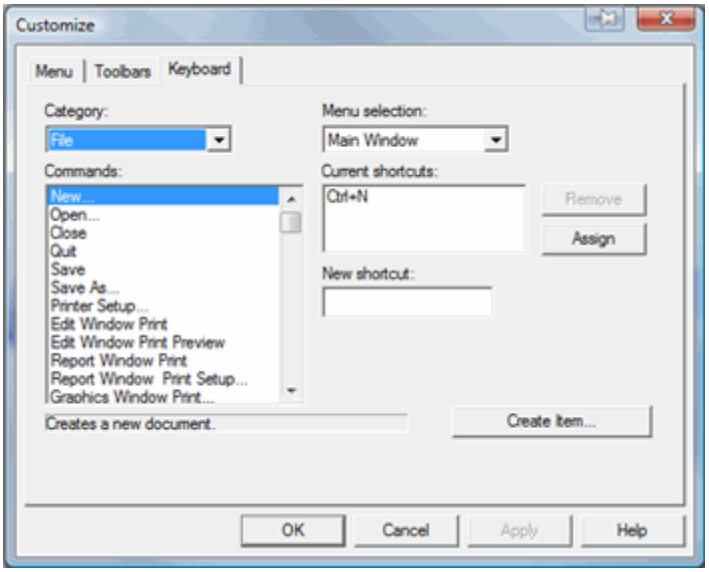
カスタム ツール バーの削除

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **ツール バー定義** リストからツールバーを選択します。
3. **削除** ボタンをクリックして下さい。
4. 変更を適用するには [**適用**] をクリックします。

ショートカット キーのカスタマイズ

メニュー項目にショートカット キーと PC-DMIS コマンドをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **キーボード** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - キーボードタブ

このタブを用いて、PC-DMIS 内のにコマンド呼び出し、及び、カスタマムメニュー用とツール バー項目用の新ショートカットキー追加に使われている、ショートカットキーを変更することができます。

コマンドにショートカットキーを追加

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**キーボード**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **カテゴリ** と**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。一旦**コマンド**リストでコマンドを選択すると、現在のショートカットキーがコマンドに割り当てられる場合、**現在のショートカット**ボックスに表示されます。
3. 新規のショートカットキーを割り当てたいコマンドを、ハイライトで表示して下さい。
4. **新しいショートカット** ボックスにクリックします。
5. コマンドに割り当てるキーを入力します。押されたキーはそれらを入力したように示します。

6. **割り当て** ボタンをクリックして、新しいショートカットキーが他のショートカットキーが現在のコマンドに割り当てることで**現在のショートカット**ボックスに表示します。
7. **適用**をクリックして変更を確定します。

他のタブと同様に、**作成** ボタンを使用して最初にコマンドを作成し、それをカスタムプログラムに連結させることもできます。次に、**メニュー選択**リストから**ユーザ定義**をクリックしてそのコマンドを選択できます。すべてのユーザ定義コマンドは**コマンド**一覧に表示されます。

コマンドからショートカットキーを除去

1. **カスタマイズ**ダイアログボックスを開くには、**表示 |ツールバー |カスタマイズ** メニューオプションを選択して**キーボード**タブをクリックします。
2. **カテゴリ**および**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。**コマンド**リストでコマンドを選択すると、そのコマンドに現在のショートカットキーまたはキーが割り当てられている場合、ソフトウェアはそれらのキーを**現在のショートカット**ボックスに表示します。
3. ショートカットキーを削除したい命令を選択します。
4. ショートカットを選択して除去します。
5. **除去する** ボタンをクリックして下さい。
6. **適用**をクリックして変更を確定します。

ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング

一部のユーザー インターフェース要素 (例えば、ツール バーやダイアログ ボックス) は、その項目を他の項目の上にドラッグ/ドロップすれば、編集ウィンドウやツール バー上でドッキングすることができます。ドッキングを望まない場合には、Ctrl キーを押下しながらマウスボタンをリリースして下さい。それから、ツールバーまたはダイアログボックスはその代わりにドックできる背景の上で空中停止します。

いくつかの項目には編集ウィンドウなど、その項目をドッキングまたはドッキング解除できる右クリックメニュー項目 (**ドッキング表示)**があります。右クリックメニュー項目が選択できない場合、開いているダイアログボックスを閉じてから再度試してください。

ウィンドウをカスケード表示 (**ウィンドウ|カスケード表示**) あるいはタイル表示 (**ウィンドウ|水平にタイル表示**または**ウィンドウ|垂直にタイル表示**) し、ウィンドウのタイトルバーをクリックしてドラッグし 1 つのタイトルバーを別のタイトルバーの上に置かなければならないことがあります。